

助けあう社会、支えあう心が「しみん基金」の願いです。



こんな活動を
しています。

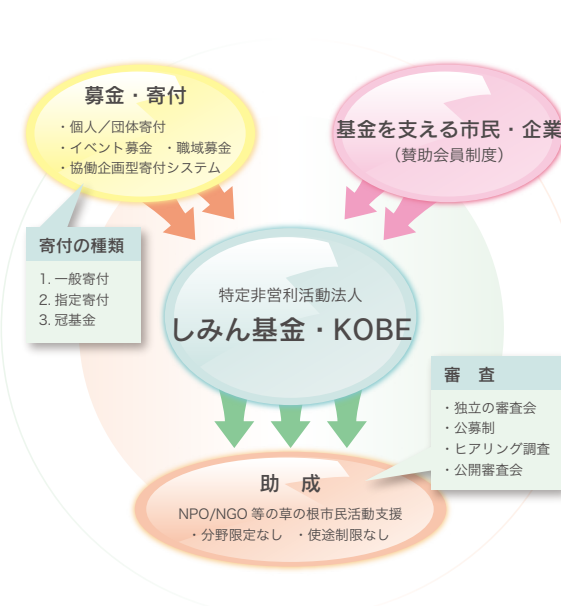
「市民が自ら支えあう市民社会づくり」を目指して市民活動団体に助成を行い、またその為の募金活動、関連する講演会・イベントetc.を企画運営しています。

ありがとうございます。

～ 助成を受けた感謝の声 ～

お役立てください。

～ 基金を支える市民・企業からの声 ～



募金・寄付事業

様々な人たちのライフステージや想いに合わせて、身近な形で社会貢献ができるように、いろいろな募金や寄付の機会を提供しています。



○イベント募金

いろいろなイベントへの参加を通じて、募金を呼びかけています。

こうべウォーク (09～01、09～協働)、ぼたんの会・夜会 (03～協働)、1・17メモリアルコンサート竹下景子詩の朗読と音楽の夕べ (05～協働) など

○職域募金

職場でできる募金のしくみづくりを進めています。

あじさい基金 (04～協働)

○協働企画型寄付システム

事業者の強みを生かし市民向けにライフスタイルに合わせた寄付の形を提案しています。

古着リサイクル寄付 (04～協働) など

○啓発・ネットワーク活動

市民による公益的な活動の意義や、寄付・ボランティアによる市民社会確立の重要性などを講演会やセミナーなどを通じて、みなさまと理解を深めています。

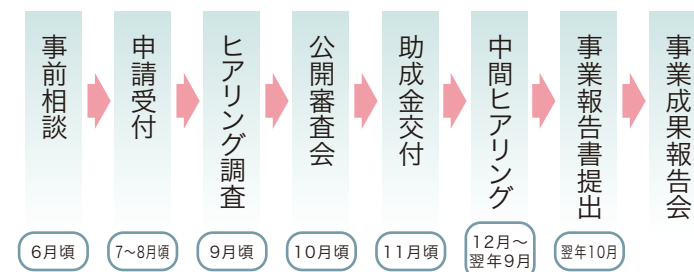
ダイズ財団講演会 (00・協働)、柳田邦男氏講演会 (00、03)、ひょうごコミュニティファンドネットワーク研究会 (06) など

助成事業

広範囲な市民・企業市民などからの寄付金に基づき、「市民社会」の確立に資する地域の市民活動団体へ、毎年独自の助成事業を展開しています。



◇助成の流れ



※年毎に変更される場合があります。詳細はその年の募集要項にてご確認ください。

特徴

●ヒアリング調査

選考の過程で申請団体の活動拠点を訪問してヒアリング調査を行います。

●公開審査会

市民に公開された場で申請内容についてプレゼンテーションを行い、審査員による公開投票で助成先が決定されます。

●分野限定なし・使途制限なし

指定寄付による特別助成枠設定時を除いて、原則として活動分野の限定はありません。また、助成金の使途科目についての制限も、原則としてはありません。

●「草の根」支援

受益者から十分な対価が得たいが、社会的弱者に寄り添いながら持続的に事業を行うことによって社会的課題解決に取り組む草の根活動への支援を重視しています。

最近の助成団体 (平成22年度分)

※尚、詳細なデータは当基金のホームページを通じて情報公開しておりますので、ご参照ください。 <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin>

■(特活)兵庫盲ろう者友の会

盲ろう児教育研修事業

■自立支援ホーム 園田の家

自立支援ホーム「園田の家」の運営

■NGO ベトナム in KOBÉ

在日ベトナム人高齢者の充実した生活づくり事業

■神戸三田外国人サポートの会

外国につながる児童生徒と保護者への支援事業

■(特活)アズイット

人間関係や就労に困難を抱えた障害者の理解と就労支援

■(特活)障害者自立センター

特殊車椅子導入と「車椅子海岸定期散歩」/新「兵庫県全鉄道・海水浴バリアフリー情報HP」及び冊子設置

■神戸大学学生震災救援隊

自然災害被災地での足湯ボランティア活動の実施と継承・普及

■兵庫県震災復興研究センター

『大震災15年と復興の備え』による啓発・情報発信事業



自分たちと同じ障害をもつ仲間が居ることを知らせたい。

兵庫盲ろう者友の会 今川 裕子 さん

このたびは、当会の「盲ろう者への相談・支援事業」に助成を戴きましてありがとうございました。盲ろう者とは、視覚と聴覚の両方に重複障害を持つ人のことです。盲ろう者は、外出やコミュニケーションが困難で、自分で情報を得るのも難しく、自分の存在を訴えることもできず、孤立を強いられています。

当会は、所在の確認できた盲ろう者の社会参加のためのさまざまな相談・支援を行ってまいりましたが、所在確認ができていたのはごく少数です。今後は、一人でも多くの盲ろう者に、同じ障害を持つ仲間や支援してくれるボランティアの人たちがいることを知ってもらい、生きる活力を持っていただきたいと願っています。



大きな心の贈り物を頂きました。

雌岡山梅林を育てる会 辻田 孝 さん

今回、放置されてきた梅林を復活させる為に、草刈・剪定・苗木植え等の作業道具や材料を購入し活動基盤の整備をすることができました。公開審査会におけるプレゼンテーションで、私たちの活動に対して過大な評価を頂き、大きな喜びと励ましを頂きました。その後、「私たちの活動も世の中の役に立っているのだ」というある確かな感覚が仲間と共有でき、活動自体に活気が出てきました。ボランティア活動はつくづく心を合わせてみなくては、地道な努力の積み重ねが必要だと感じた次第です。今回の成果は、このような大きな心の贈り物を頂いたことです。ほんとうにありがとうございました。



基金は新しい市民社会への希望のシンボル

アートサポートセンター神戸 島田 誠 さん

震災を体験したのとして「支えあう社会」へ向かっていきたいと願っています。しみん基金KOBÉは、そうした市民活動に助成をするために生まれました。しかし基金もまた市民が支えなければ成り立ちません。自立した市民の活動は「志」の循環であるとともに「お金」の循環でもあります。私は震災の3年前から、小さな文化基金を立ち上げ、お金の循環の必要性を身をもって体験してきました。この基金に期待する以上、機会があることに出来るだけ寄付をし、その寄付が自立した市民活動を支える現場を審査員として確認してきました。そしてこの基金は新しい市民社会への希望のシンボルであり、新しいモデルを打ち立てる使命を持っています。



あじさい基金

～神戸市職員有志による職域募金

あじさい基金 菊本 郁 さん

2003年に神戸市職員を対象に「しみん基金・こうべ」を支える会(あじさい基金)を立ち上げました。1口200円で毎月給与からの引き去りで会費を集め、コーヒー1杯より安い金額で出来る市民活動への応援というキャッチフレーズで進めてきました。このような活動を通じて、実際に市民活動を支援するとともに、職員のNGO・NPO活動への理解を深め、真の協働と参画の市政実現に寄与することを目指しています。今後、更に輪を広げていきたいと考えています。

賛助会員募集要項

「しみん基金・KOBÉ」のしくみを支えてくださる賛助会員を募集しています。

●賛助会員

(本会の目的に賛同して入会する個人または団体で総会での議決権を有しない)

個人会員 年間 3,000円/口
団体会員 年間 10,000円/口

※会費期限は3月末日までと致します。但し、1月以降にご入会の際は翌年3月末までと致します。

●お申し込み方法

添付の入会申込書に必要事項を記入の上、事務局あてにFAXもしくは郵送していただくか、メールにてお申し込みください。

メールでのお申込はこちらまで kikin@stylebuilt.co.jp

ご寄付のお願い

普段から支えあい助けあう市民社会づくりのためにしみん基金・KOBÉでは、個人・企業・各種団体等の皆様へ、ご寄付へのご協力をお願いしています。

お預かりしたご寄付は、すべて市民の手によって公正に管理・運営され、選考過程も公開し透明なしくみのもと、地域の多様な市民活動を育てることに役立てていきます。また、助成した団体と寄付者との交流会を通じて、さらなる寄付の文化づくりに努めています。

ご寄付の方法は、以下の3つの種類でいつでもご相談を受け付けています。

●一般寄付 …… いつでもいくらからでも受け付けています。

●指定寄付 …… 助成先の分野やテーマなどを指定した寄付を受け付けています。(100万円～)

●冠基金 …… 寄付者の意志を尊重し篤志を顕彰するため、指定のお名前を付けた基金設定も受け付けています。(1,000万円～)

●振込口座

郵便振替 00990-5-157334
三井住友銀行 三宮支店 普 7965892
みなと銀行 本店営業部 普 1597921
近畿労働金庫 神戸支店 普 4161854

◇口座名義 しみん基金・こうべ
※郵便口座へ他の金融機関からお振り込みの場合は
ゆうちょ銀行 099店 当 0157334